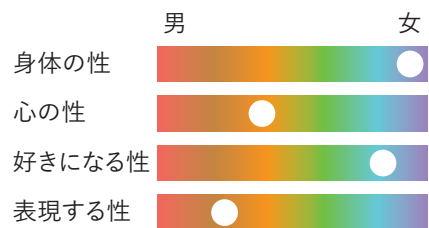


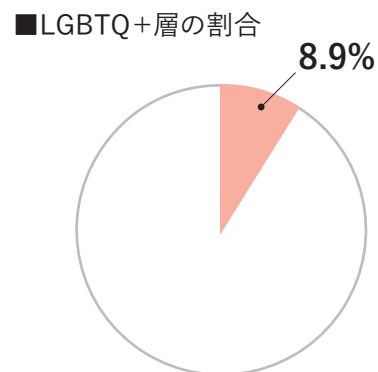
## 性の在り方は グラデーション

性の在り方はグラデーションのように境目がなく、個人によって異なるといわれています。例えば、下の図のように戸籍上は「女性」で、心の性はどちらかという「男性」、好きになる相手は「女性」で、「男性」のファッションが好き(表現する性)という方もいるように、明確に分けられない方や2つの性の間で揺れ動いていると感じる方もいます。また、心の性と好きになる性は、自分の意思などで変えられるものではありません。



## 近くにいないのではなく 気付いていない可能性も

LGBTQの方は日本の全人口の8.9%という調査結果もあり、これは例えば左利きの方とほぼ同じ割合です。周囲の否定的な反応を恐れて打ち明けられない方も多いといわれています。



※出典: 総務省「電話ダイバーシティラボ」が2020(令和2)年12月に実施した「LGBTQ+調査2020」

## LGBTQとは?

典型的とされてきた性の在り方にとられない人々(性的マイノリティ)を表す言葉の一つ。「LGBT」とも表すほか、さらに広がりを出す意味で+を付けた「LGBTQ+」などと表現する場合があります。

**Lesbian** 「レズビアン」  
心の性が女性で、同性を好きになる方。女性の同性愛者

**Gay** 「ゲイ」  
心の性が男性で、同性を好きになる方。男性の同性愛者

**Bisexual** 「バイセクシュアル」  
心の性にかかわらず、同性も異性も好きになる方。両性愛者

**Transgender** 「トランスジェンダー」  
身体の性と心の性が異なる方。好きになる性は個人によります

**Questioning** 「クエスチョニング」  
自分の性が分からない方や迷っている方、決めていない方など。心の性にも、好きになる性にも用います

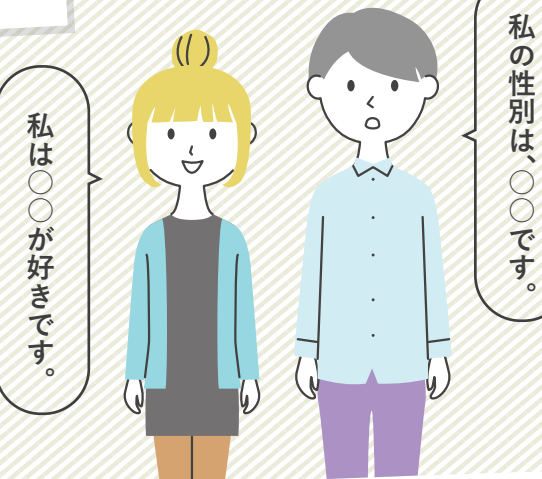
※典型的とされる性の在り方以外を包括的に表す「Queer(クィア)」の「Q」として使うこともあります

## 多様性を尊重する社会へ

# LGBTQ

今回の特集のテーマは「LGBTQ」。これまで典型的とされてきた「男性」や「女性」といった性にとられない、さまざまな性の在り方を考えてみましょう。

【詳細】男女共同参画課 ☎211-2962



## 性を考える4つの要素

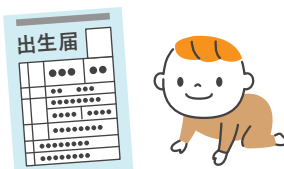
性の在り方には主に4つの要素があるといわれており、個性や違いを受け入れ、認め合うためにそれらの要素を知っておくことが大切です。

※表現する性以外の3つの要素とすることもあります

### 身体性

体つきや性遺伝子などによる生物学的な特徴から、出生届により戸籍などに記載された性別です。

※「法律上の性」とする考え方もあります



### 好きになる性

恋愛感情や性的な関心が向かう性別を表す言葉。異性、同性、両性に向かう方のほか、誰に対してもそのような感情を抱かない方もいます。性的指向ともいいます。



### 心の性

身体性にかかわらず、自分が認識している性別のこと。性自認ともいいます。



### 表現する性

服装や髪形、しぐさや言葉遣いなど、自分自身が性別をどのように表現するかということ。

